

「膵がん・胆道がんのリスク要因としての遺伝子多型と生活習慣との交互作用解明のための症例対照研究」にご参加の方へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

2021年から東北大学東北メディカル・メガバンク機構（以下、ToMMo）と共同研究を実施する予定です。得られた結果が個人情報を含まない形で ToMMo のウェブサイトにて公開されるということについて、対象となる患者様各位から直接同意を得ていないため、研究内容の情報を公開し、結果の公開について拒否できる機会を与えることが求められています。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	膵がん・胆道がんのリスク要因としての遺伝子多型と生活習慣との交互作用解明のための症例対照研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 道勇 学
担当科等	公衆衛生学講座
研究責任者	教授 菊地正悟
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	東北大学東北メディカル・メガバンク機構 教授 田宮 元
研究の意義・目的	本研究は、膵がん、胆嚢がんの発症に関わる遺伝子の個人差（主に一塩基多型に注目）を調べることを目的とします。研究成果は、膵がんや胆道がんにかかりやすい方の早期発見や予防につながると期待できます。
対象となる患者さん	2011年4月から2019年3月までに各研究参加施設にて膵がんや、胆道がん、その他の病気と診断された患者様、一般集団の方々など
研究の方法	東北大学東北メディカル・メガバンク機構（以下、ToMMo）との共同研究で、ゲノムワイド関連解析(GWAS)という方法により、網羅的に膵がん、胆嚢がん患者とそれ以外の一般集団について遺伝子の個人差を調べます。 ※研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できることが可能です。入手・閲覧を希望する場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2024年3月31日
研究に用いる試料・情報	試料：DNA 情報：生活習慣アンケート
外部への試料・情報の提供	ToMMo に試料を提供し、GWAS 解析が行われます。得られた結果は、ToMMo へのバンキングの可能性があります。
その他	ToMMo へのバンキング、同ウェブサイトでの公開を希望しない方は、2022年3月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学

医学部公衆衛生学講座

担当者：教授 菊地正悟

〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1

電話 0561-62-3311 (内線 12372)